



令和8年9月10日
統合幕僚監部

ロシア海軍艦艇の動向について

令和8年9月9日（水）午前3時頃、海上自衛隊は、沖大東島（沖縄県）の東約150kmの海域において、同海域を西進するロシア海軍ヴィシニャ級情報収集艦（艦番号「208」）を確認した。

その後、当該艦艇が、沖大東島の東から北にかけての接続水域内を北西進した後、10日（木）に沖縄本島南東から久米島（沖縄県）北西にかけての接続水域を含む海域を航行し、東シナ海へ向けて航行したことを確認した。

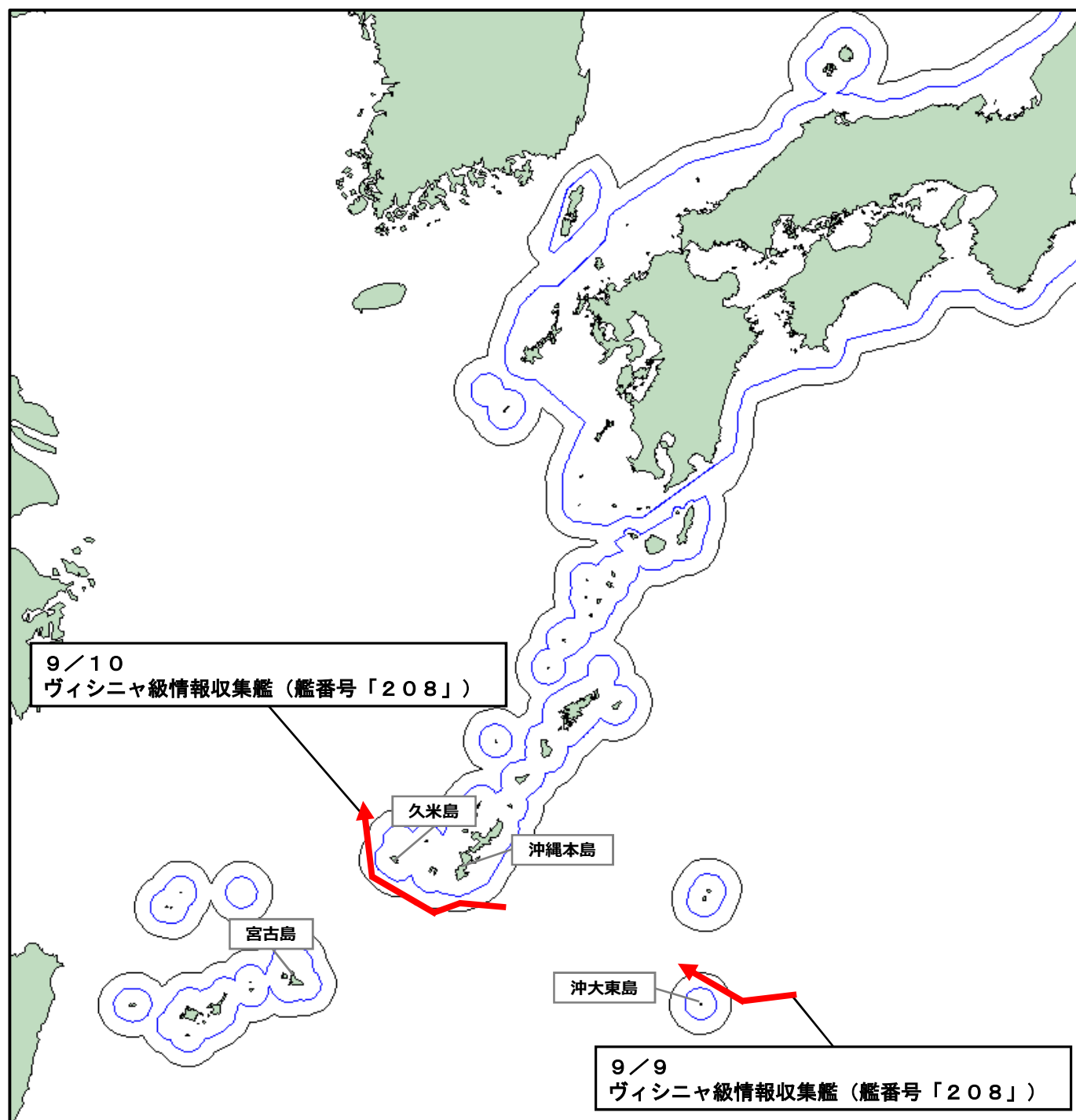
なお、当該艦艇は、6月27日（土）に対馬海峡を南西進し、6月30日（火）に沖縄本島と宮古島（沖縄県）との間の海域を東進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊の第3機雷戦隊所属「たかしま」（佐世保）及び第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、警戒監視・情報収集を行った。

ヴィシニャ級情報収集艦（艦番号「208」）

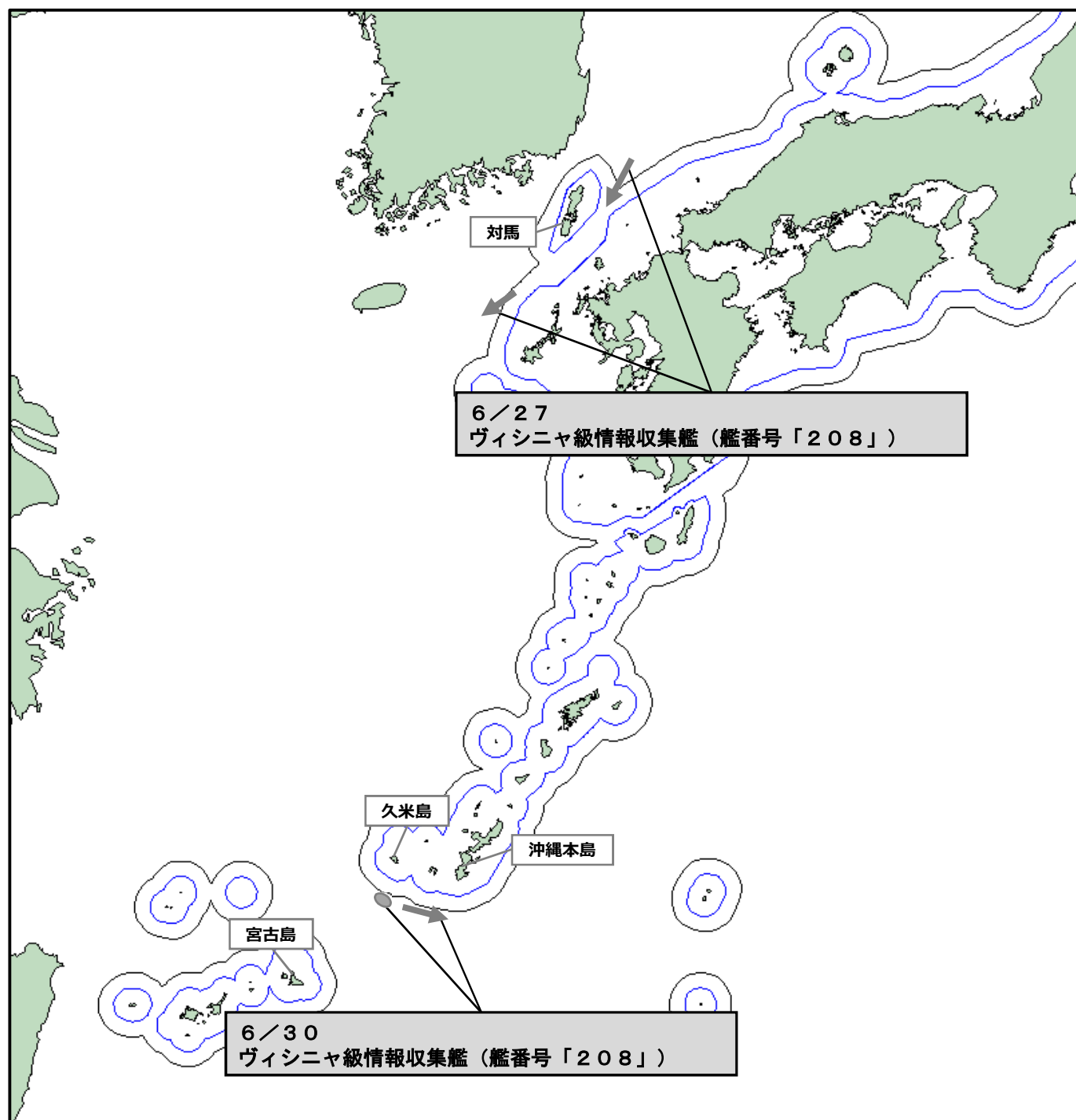


行 動 概 要



→ : ロシア海軍艦艇
□ : 今回公表

行 動 概 要



- : ロシア海軍艦艇
- : 遊弋箇所
- : 既公表